

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	なないろキッズついで			公表日 令和8年3月27日			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0%	12%	88%	・仕切りを使って遊びの場と学習の場を分けているが、音が気になり集中できない。 ・利用人数に応じた遊び方の工夫をしている。	・現在のスペースでは狭くきびしい。部屋数も足りない。 ・スペース的に飽和状態で、それが子ども同士のトラブルを招く要因になっていると懸念している。子ども一人一人に寄り添った支援の充実に向けスペースの増設は喫緊の課題である。 ・クールダウンできる場所があるとよい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	76%	12%	12%	・職員配置は、重度の利用者に付けるよう人数を増やしている。	・職員が連携して支援に務めているが、個別支援が必要な子どももおり、配置数は十分とは言えない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12%	25%	63%	・仕切りを使い、学習場所と活動場所を区切っている。活動によって仕切りを移動させている。	・コンテナハウスを使用できるようになっているが、靴を履き替えて移動するのは面倒な部分がある。 ・狭いスペースを有効に活用すべく座卓を移動させたり衝立で仕切り、食事や学習スペースを確保するなど工夫をしているが、構造化された環境とはいえない。職員も工夫しているが、それにも限界がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	0%	63%	37%	・この限られたスペースでの整理整頓はよくやっていると思う。 ・整理整頓や衛生管理を適切に行うなどして心地よい生活空間づくりに努めている。	・生活空間の中にトイレがある。 ・学習場所と遊ぶ場所が一緒になっている。 ・狭いスペースで活動を強いることになり、子どもの活動に合わせた空間になっていない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	38%	25%	37%	・集中したいときやクールダウンしたい時に利用できるコンテナハウスを確保している。	・クールダウンや他の子からの目隠しとなる場所が無い。 ・屋外にコンテナハウスがあり活用が可能であるが、外に出なくてはならず使いにくい。子どもたちの活動上も管理上も適切なスペースとは言えない。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	88%	12%	0%	・職員研修やミーティングを通して、共通理解をはかっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	12%	0%	・1年に一度の評価表集計で良い点や改善点を把握し、職場で共有したり改善点について検討したりしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	0%	・日々のミーティングと月のミーティングで出た意見は、改善に生かすようにしている。 ・管理責任者を中心に日々打ち合わせを行い、課題等を明らかにして翌日の支援につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	0%	・第三者評価の実施はしていないが、七穂会事業所の評価会議に結果を公表し、業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	0%	・研修に参加できなかった職員には、解説を加えたうえで資料を配布し、後日研修機会を設けるなど、全職員が研修できるようにしている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	88%	12%	0%	・支援プログラムは、文書での配布やホームページに掲載し、取り組み内容等を保護者に周知している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	88%	12%	0%	・保護者とのアセスメントでは、先回の計画を基に、次回の放課後等デイサービス計画の目標と支援内容を検討し、作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88%	12%	0%	・中間評価会議で検討した内容は、必要に応じ、全職員で支援に生かしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	12%	0%	・チームアプローチによる一貫した支援を行うことが支援方針として明示され、全職員で共有している。毎日のミーティングで支援のポイントを明らかにして支援している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	88%	12%	0%	・保護者にアセスメントシートに記入いただき、適応行動の状況把握に努めている。また日々の様子については、連絡帳やメール、電話などで確認している。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域活動・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	88%	12%	0%	・個別支援計画は、ガイドラインに沿った形式で児発管が作成・提案している。より具体的になるよう、職員間で吟味しながら、支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	12%	0%	・活動内容は事前に計画案を作成し関係職員で打ち合わせを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	88%	12%	0%	・全員でのゲーム内容は、静的なものを行った次の日は動的なものというふうに変化をつけている。 ・活動の振り返りを適切に行い、活動プログラムの改善・充実につなげている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	88%	12%	0%	・毎日の支援内容は個別活動と集団活動を組み合わせパターン化し、集団活動は、子どもたちの希望を取り入れて工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	0%	・毎日始業前にミーティングを行い、チームで支援の確認や提案をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	75%	25%	0%	・活動の振り返りを行い、気付いた点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%	0%	・日々の様子を個別のサービス提供記録として職員が記録し、共有しながら支援の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	88%	12%	0%	・3か月に一度保護者と面談を行い、事業所での様子を伝え、家での相談に応じている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	88%	12%	0%	・子どもが主体的に活動に参加できるよう、子どもたちの興味関心に配慮した交流活動を行っている。また、ルールの確認をスムーズにできるよう努めている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	88%	12%	0%	・生活の流れを視覚化する等、子どもの自己決定を促す環境整備や支援につとめている。さらに工夫改善する必要がある。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	88%	12%	0%	・児童発達支援管理者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	12%	0%	・年に4回、市の「子ども部会」に参加し、連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	86%	14%	0%	・各学校の年間行事予定・月歴・下校予定時刻の情報を基に事業所の計画を立てている。 ・利用者の担任との面談を定期的に設けていただき、利用者の様子の共有や連絡調整を行っている ・学校に迎えの際には、情報共有できる雰囲気づくりを心がけている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	0%	・一年時からの利用者には、入学前に保育園での様子を担任から聞き、支援に生かしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	88%	12%	0%	・本人の情報を障害福祉サービス事業所に提出し、情報を共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	76%	12%	12%	・専門機関と連携し、助言や研修を受けてより良い支援に努めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12%	63%	25%	・児童センターや公園、各種イベントなどで障がいのない子どもと活動する機会があれば積極的に参加するようにしている。	・重度の利用者に対する支援は、ほとんどの支援職員が女性で60代のため、内容を選んでの参加や職員配置が必要となっている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	60%	40%	0%	・会議等に参加し、情報を共有するようにしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	0%	・送迎時には、その日の様子で特に良かった所や頑張った所を保護者に伝えている。 ・保護者との面談を定期的に行うとともに、日頃から意思疎通を大切に共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	88%	12%	0%	・チラシを配布したり玄関に貼ったりしている。 ・保護者会では、講師を招待し、家族支援についての話題を提供している。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	88%	12%	0%	・契約時に重要事項説明書や各種計画などの資料を基に、丁寧に説明するようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	0%	・アセスメントの際に、お子様と保護者様の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	88%	12%	0%	・「放課後等デイサービス計画」の内容説明を丁寧に言って、保護者の同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	0%	・3か月に一度、希望面談の場を設け、一緒に考えたりアドバイスを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	88%	12%	0%	・1年に一度、保護者会を設け、アドバイザーの方にアドバイスをしてもらっている。	・きょうだい同士で交流する会の要望が保護者から上がっているので、来年度実現に向けて行きたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	0%	・日ごろから丁寧な対応を心がけ、苦情があった場合には正確な情報収集を行い迅速かつ適切な対応を心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	0%	・定期的に個人お便りを発行し、様子を写真と文で知らせている。 ・定期的に通信等を発信している。また、自宅まで送り届けた折にその日の様子を伝えるようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	88%	12%	0%	・個人情報が出ないように同意書を交わすとともに、写真の掲載や文書の扱い、ホームページ作成などには細心の注意を払っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	0%	・管理責任者を中心に保護者との連携に努めている。意思疎通や情報伝達のための配慮も適切に行っている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	50%	12%	・市のボランティア団体に依頼し、読み聞かせや昔語りをしている。 ・市内の公共施設や近隣の施設での活動を、事業所の取組を知ってもらう機会にしている。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	0%	・各種のマニュアルを作成し、職員に周知し、研修や訓練を行っている。 ・必要に応じて、対応マニュアルを保護者に配布している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	88%	12%	0%	・BCPを策定し、年3回の避難訓練、必要な研修と訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	0%	・契約時に服薬や発作等に該当する利用者の状況を把握し、詳しく聞き取るとともに記録をし、職員全員で共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	88%	12%	0%	・保護者との情報共有を確実にしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	0%	・安全計画を作り、非常時の避難経路や避難場所、避難の仕方についてわかりやすく説明し、定期的に訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	88%	12%	0%	・安全計画は、文書の配布、ホームページに掲載して、保護者様への周知を図っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	88%	12%	0%	・ヒヤリハットがあった場合は、記録をとり、記録を基に、ミーティングで事故の未然防止について検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	0%	・虐待防止・身体拘束についての委員を選定し、七穂会の会議に参加したり、事業所での職員研修会を定期的に開催している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	0%	・具体的な支援方法について職員での打合せを行っている。 ・サービス計画を作成する際に、利用者や保護者から了解を得て計画に記載している。		